

平成27年度 事業別予算概要

事業名	21700	地籍調査事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	国土調査事業(地籍調査事業)第6次十箇年計画		市長公約	まちづくり産業の振興 ・建築・土木業、運輸・流通業、環境や情報関連業などを始めとしたまちづくりに関わる業界の皆さんと協働で、市民が安全・安心・便利に暮らせるまちづくりを進めます。
種別				款	2	総務費		基本分野	5		基盤・安全	実施計画事業		
担当課	農政部 林務課		内線	項	1	総務管理費	分野	1	土地利用	H27実施計画額	千円			
			2236	目	18	地籍調査費	施策概要	1	総合的な土地利用					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	地籍調査実施地域の森林所有者	どうしたいのか(意図)	・土地所有者・地番及び境界等の明確化 ・森林整備を円滑に実施	概要	事業の実施手法(手段)	・地籍調査の実施
	対象者数	2,726 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	丹生川折敷地(Ⅳ)換算面積 0.47km ² 計画面積に占める残面積の割合 77.1% 清見牧ヶ洞(Ⅲ) 換算面積 0.29km ² 計画面積に占める残面積の割合 70.0% 久々野柳高(Ⅰ) 換算面積 0.06km ² 計画面積に占める残面積の割合 6.0% 朝日宮之前(Ⅰ・Ⅱ) 換算面積 0.32km ² 計画面積に占める残面積の割合 93.0% 国府 今 換算面積 0.55km ² 計画面積に占める残面積の割合 3.0% 上宝蔵柱下(Ⅶ) 換算面積 0.11km ² 計画面積に占める残面積の割合 86.1%						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
活動指標	地籍調査事業 実施面積	km ²	目標値	6.4	6.4	6.4	6.4
			実績(見込)	0.83	1.80	2.58	
成果指標	算出根拠等 実績		達成率(%)	13	28	40	
			目標値	64	64	64	64
成果指標	国土調査事業 第6次十箇年計画達成面積	km ²	実績(見込)	6.6	8.4	11.0	
			達成率(%)	10	13	17	
成果指標	算出根拠等 第6次十箇年計画面積		目標値				
			実績(見込)				
成果指標	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
成果指標	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
補足	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
補足	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

平成25決算における分析・評価で明らかになった課題	高山市総合計画や市長公約において、地籍調査を積極的に推進している。しかし、国、県の予算配分が十分にされず、地域要望に応えられていないことが課題である。
---------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・積極的な予算配分を国・県へ要望し、地籍調査の計画的推進を図る。													
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>維持・改善</td> <td rowspan="3">○ 拡大</td> <td rowspan="3">第6次十か年計画に基づき、地籍調査事業を拡大し、進捗率を高める。</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> <td rowspan="3">○ 拡大</td> <td rowspan="3">県に対して財源確保を求める必要がある。</td> </tr> <tr> <td>維持・改善</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	維持・改善	○ 拡大	第6次十か年計画に基づき、地籍調査事業を拡大し、進捗率を高める。	拡大	縮小	廃止検討	○ 拡大	県に対して財源確保を求める必要がある。	維持・改善	縮小	廃止検討		
維持・改善	○ 拡大	第6次十か年計画に基づき、地籍調査事業を拡大し、進捗率を高める。												
拡大														
縮小														
廃止検討	○ 拡大	県に対して財源確保を求める必要がある。												
維持・改善														
縮小														
廃止検討														

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	22,685	58,869	79,489	171,713
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	7,641	21,595	29,160	62,991
	受益者	地籍調査実施地域の森林所有者	(B)	2,969	2,726	2,726	2,726

5 予算編成(Action2)

事業内容	・国土調査法に基づく地籍調査 ・水源林の境界明確化	要求のポイント	・県の「緊急財政再建期間」が終了したことから、県に大幅な事業費の増額要望を働きかけ、地籍調査面積の拡大を図る ・森林境界明確化の推進	事業実施の課題	・地籍調査を実施するには、多大な事業費を要するため、国や県と連携し事業費を確保する必要がある ・水源林境界明確化においては保安林制定同意が8割以上必要
------	------------------------------	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		79,489	171,713	92,224	152,038	152,038	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	60,750	126,306	65,556	116,450	116,450		
	その他			0				
	一般財源	18,739	45,407	26,668	35,588	35,588		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	21830	匠の家づくり支援事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	市長公約	農林畜産業の振興 ・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤にかかわる活動を支援する施策を充実します。
	種別			款	2	総務費		基本分野	1			
担当課	農政部 林務課		内線	項	1	総務管理費	分野	6	林業	H27実施計画額	千円	
				2236	目	19		環境政策費	施策概要			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民、市内工務店、市内木材生産者	どうしたいのか(意図)	・市産材を使用した木造建築を促進し、市産材の利用拡大を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・木造建築物の主な構造材における市産材の使用量に応じ、1㎡あたり20,000円補助する。 ・H24から、地産外消タイプ(地域材使用量に対し家具等木製品を贈呈する制度)を追加。 ・産直住宅建設促進事業者の活動に対し補助する。 ・県産直住宅組合への負担金。
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	匠の家づくり支援事業補助金 117件 34,454千円 産直住宅建設促進事業 3件 460千円							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	建築棟数	棟	目標値	90	117	117	120
				実績(見込)	74	117	117	
	算出根拠等		実績棟数による		達成率(%)	82	100	100
	成果指標	市産材利用率	%	目標値	100	100	100	100
				実績(見込)	82	92	97	
	算出根拠等		実績棟数による		達成率(%)	82	92	97
	活動指標	産直住宅建設数(木実部材贈呈)	棟	目標値	2	2	2	2
				実績(見込)	0	3	2	
	算出根拠等		実績棟数による		達成率(%)	0	150	100
	算出根拠等				目標値			
	算出根拠等				実績(見込)			
算出根拠等				達成率(%)				
算出根拠等				目標値				
算出根拠等				実績(見込)				
算出根拠等				達成率(%)				
補足								

3 分析・評価(Check)

平成25決算における分析・評価で明らかになった課題	・申請件数が増加しており、事務の効率化に引き続き取り組む必要がある。 ・市産材利用を促進するために、関係各所への当制度の効果的PRを推進する必要がある。
---------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・当制度の効果的なPRについて検討し、実施する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・事業者ヒアリングの中で、内装木質化などに対する補助を求める声があがっており、一層市産材の利用促進の観点から、制度の改善を引き続き検討する。 ・補助制度の実施により、市産材の利用拡大がどれくらい図られているかを検証するとともに、更なる需要拡大を図るために、市産材の品質や制度の効果的なPRを図る必要がある。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	22,544	35,114	35,590	36,590
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	243	381	389	399
	受益者	市民、市内工務店、市内木材生産者	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	・木造建築物の主な構造材における市産材の使用量に応じ1㎡あたり20,000円を補助する。 ・H24から地産外消タイプ(地域材使用量に対し家具等木製品を贈呈する制度)を追加 ・H25から住宅以外に別荘、店舗、事務所等も補助対象に追加 ・産直住宅建設促進事業者の活動に対し補助する。 ・県産直住宅組合への負担金。	要求のポイント	・市内のみならず市外へも高山市の木造建築物・木製品の品質の高さを広めるため、効率的なPRを促進する。	事業実施の課題	・増大する事務の効率的処理 ・効果的なPRの展開
------	--	---------	--	---------	-----------------------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		35,590	36,590	1,000	36,590	36,590	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	320	320	0	320	320		
	その他			0				
	一般財源	35,270	36,270	1,000	36,270	36,270		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	53100	林道管理事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	市長公約	農林畜産業の振興 ・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤にかかわる活動を支援する施策を充実します。
種別				款	5	農林水産業費		基本分野	1			
担当課	農政部 林務課		内線	項	3	林業費	分野	6	林業	H27実施計画額	千円	
			2236	目	1	林業総務費	施策概要	2	森林資源の有効活用			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	森林所有者(市内全域)	どうしたいのか(意図)	・林務事業を推進するための事務経費 ・林道の計画的な維持・修繕を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・林道パトロール等を通じて林道破損箇所の情報を集め、修繕を行う。
	対象者数	4,482 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> ・林道修繕 77件 73,694千円 ・林道維持管理委託 6件 2,207千円 								
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27	
	活動指標	林道維持管理	箇所	目標値	60	60	60	30	
				実績(見込)	91	77	50		
	成果指標	算出根拠等 実績箇所	間伐材利用に係る集運材量	m	達成率(%)	152	128	83	
					目標値	12,000	15,800	21,500	21,500
		算出根拠等 搬出量			実績(見込)	16,105	20,786	20,000	
					達成率(%)	134	132	93	
		算出根拠等			目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
		算出根拠等			実績(見込)				
達成率(%)									
	算出根拠等			目標値					
				実績(見込)					
	算出根拠等			達成率(%)					
				目標値					
	算出根拠等			実績(見込)					
				達成率(%)					
補足									

3 分析・評価(Check)

平成25決算における分析・評価で明らかになった課題	・林道の適正な管理のため、修繕を継続して行う。
---------------------------	-------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・林道調査や町内要望等により必要な修繕を実施する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・林道の適正な管理のため、継続して修繕を行う。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
	歳出(千円)		(A) 78,743	78,827	31,348	44,675
	受益者1件当たり(円)		(A/B) 17,569	17,587	6,994	9,968
	受益者	森林所有者(市内全域)	(B) 4,482	4,482	4,482	4,482

5 予算編成(Action2)

事業内容	・林務事務経費 ・林道施設修繕 ・林道除草業務委託 ・各種林業関係団体の負担金	要求のポイント	・林道275路線の適正な維持管理	事業実施の課題	・林道の適正な維持管理に必要な測量・設計等の知識・技術を有する人材が不足している。 ・関係団体への負担金の見直し
------	--	---------	------------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		31,348	44,675	13,327	36,018	36,018	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	289	249	△40	279	279		
	その他			0				
	一般財源	31,059	44,426	13,367	35,739	35,739		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	53200	市有林整備事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	市長公約	農林畜産業の振興 ・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤にかかわる活動を支援する施策を充実します。
	種別			款	5	農林水産業費		基本分野	1			
担当課	農政部 林務課		内線	項	3	林業費	総計画	6	林業	H27実施計画額	千円	
	2236			目	2	林業振興費		施策概要	1			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 市民	どうしたいのか(意図)	・市の基本財産の造成、地域林業の振興、国土の保全等を図ることを目的に、計画的な管理・経営を推進する。 ・市有林の事業を通じて、森林管理に必要な技術を有する人材を育成する。	概要	事業の実施手法(手段)	・市有林を適正に管理するため、集約化・森林経営計画に基づき、間伐や枝打ち等の施策を計画的に実施する。 ・市有林を活用し、建設業者等の利用間伐に対する森林施業技術のレベルアップを図る。
	対象者数					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績		・市有林管理事業 35,254千円 ・利用間伐・作業道開設等 7件							
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
		市有林間伐等施業実施面積		ha	目標値	50	26	72	53
	算出根拠等 事業実施面積			実績(見込)	36	35	72		
	成果指標	市有林施業管理面積		ha	目標値	2,353	2,353	2,353	2,353
		算出根拠等 人工林面積			実績(見込)	1,273	1,308	1,380	
	活動指標	市有林利用間伐面積		ha	目標値	30	10	50	30
		算出根拠等 事業実施面積			実績(見込)	25	8	50	
	成果指標	市有林作業道開設延長		m	目標値	1,000	1,000	1,600	1,200
		算出根拠等 事業実施延長			実績(見込)	728	1,000	1,600	
	補足				目標値				
		算出根拠等			実績(見込)				
					達成率(%)				
				目標値					
				実績(見込)					
				達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

平成25決算における分析・評価で明らかになった課題	・森林の持つ公益的機能の維持・発揮を図るため、市有林周辺の森林所有者等と連携し、市有林及び周辺森林を一体とした管理手法を検討・実施する必要がある。 ・市有林の事業を通じて、林業事業者における伐採等の施業技術者は育ちつつあるが、必要な施業のプランニング、進捗管理等のできる人材は不足している。
---------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況		・市有林及び周辺森林を一体とした管理手法を検討する。 ・市有林を事業者等に経営委託する方式等の導入について検討するための調査を実施する。 ・森林の適正な管理に必要な人材を市有林の事業を通じて、引き続き育成する。			
次年度の実施方針	○ 維持・改善	拡大	市有林の効果的な管理のあり方について検討する必要がある。		
		縮小			
	○ 維持・改善	廃止検討			
		拡大	(担当課評価に同じ)		
		縮小			
		廃止検討			

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	48,950	37,647	42,840	34,848
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	527	409	468	380
	受益者	市民	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	・市有林管理 ・市有林整備	要求のポイント	・市有林の長期経営委託 ・市有林の適正な管理・利用	事業実施の課題	測量や設計、施業プランの作成等市有林の適正な管理利用に必要な知識・技術を有する人材の育成
------	------------------	---------	------------------------------	---------	--

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		42,840	34,848	△ 7,992	29,000	29,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	19,383	12,042	△ 7,341	11,200	11,200		
	その他	12,740	9,880	△ 2,860	8,450	8,450		
	一般財源	10,717	12,926	2,209	9,350	9,350		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	53210	緑の保全事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	高山市森林整備計画	市長公約	農林畜産業の振興 ・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤にかかわる活動を支援する施策を充実します。
種別				款	5	農林水産業費		基本分野	1		産業・労働		
担当課	農政部 林務課	内線	2236	項	3	林業費	分野	6	林業	H27実施計画額		千円	
				目	2	林業振興費	施策概要	1	森林の適切な管理				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	森林所有者・森林組合・林業事業者 等	どうしたいのか(意図)	・必要な森林施策を適切に実施することにより、森林を健全な状態に保ち、水源かん養機能の向上や災害に強い森林づくりを促進する。	概要	事業の実施手法(手段)	・間伐などの国・県で行っている造林補助事業に市で嵩上げ補助を実施する。 ・国、県で補助対象とならない規模の小さい森林施策に対して市単独の補助を実施する。 ・間伐材の搬出利用を促進するため、市場等までの運搬費に補助を実施する。
	対象者数	4,482 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25実績	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐事業補助(搬出間伐、切捨間伐) A=126ha ・除伐 A=44ha ・間伐作業道開設事業補助L=13,427m ・軽作業道開設L=1,213m ・未利用資源活用促進事業V=8,241㎡ 間伐利用促進事業V=12,545㎡ ・小規模森林整備事業 10件 A=4ha 						
		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	間伐・除伐・枝打ち等	ha	目標値	500	497	400	362
		実績(見込)	266	178	390			
	算出根拠等	実績	達成率(%)	53	36	98		
	活動指標	作業道開設	m	目標値	34,300	12,100	22,500	20,600
		実績(見込)	13,254	14,640	22,500			
	算出根拠等	実績	達成率(%)	39	121	100		
	活動指標	間伐材利用促進事業 集運材積量 未利用資源活用促進事業	㎡	目標値	12,000	15,800	21,500	21,500
		実績(見込)	16,105	20,786	20,000			
算出根拠等	実績	達成率(%)	134	132	93			
成果指標	民有林内の間伐実施面積	ha	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	
	実績(見込)	1,748	1,109	2,000				
算出根拠等	飛騨農林事務所間伐実績集計	達成率(%)	87	55	100			
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

平成25決算における分析・評価で明らかになった課題	近年の国、県の補助制度の変更に伴い、これまで切捨て間伐が中心で進んできた間伐が搬出間伐が中心となり、伐採して搬出する業務は、高度な技術と多くの労務を要するため今後は、森林技術者の育成・確保を図る必要がある。
---------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	間伐促進事業等の普及拡大を図り、小規模事業者等の経営意欲の喚起を促す。	
次年度の実施方針	○維持・改善	緑の保全事業を継続することで林業を支える人や、地域づくりを図り、経営意欲の喚起など積極的な支援を進める。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	小規模森林所有者等が、国・県の造林補助事業を実施できるよう共同での森林経営計画策定の促進について検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	54,910	52,512	55,000	56,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	12,251	11,716	12,271	12,494
	受益者	森林所有者・森林組合・林業事業者 等	(B)	4,482	4,482	4,482

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐事業、間伐作業道開設事業 ・森林環境保全直接支援事業(国・県造林補助事業)に嵩上補助を行う。 ・間伐材利用促進事業、未利用資源活用促進事業による間伐材の集運に対する補助を行い、間伐材利用及び間伐促進を行う。 ・間伐促進事業、小規模森林整備事業 ・県造林補助制度に対応できない個人及び林業事業者等が、5ha未満の間伐作業を行う場合や0.5ha未満の小規模な森林整備に補助する。 	要求のポイント	利用間伐を積極的に進め、災害に強い森林づくり、市産材及び間伐材利用促進	事業実施の課題	平成25年度より森林経営計画策定団地が、森林環境保全直接支援事業(国・県造林補助事業)の対象者になった。 森林経営計画は、効率的な森林経営を進め、森林施策の団地化や境界明確を促進するものである。 このため、高山市は、積極的に地域説明会等に参加し、集約化・団地化を進める。 また、個人等小規模森林所有者は、間伐促進事業、小規模森林整備事業及び平成26年度開始の未利用資源活用促進事業の買取型を普及し、林業経営意欲を喚起する。
------	--	---------	-------------------------------------	---------	--

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	55,000	56,000	1,000	55,000	55,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおりに
財源内訳							
国庫支出金	600	700	100	700	700		
県支出金	500	750	250	750	750		
その他	4,380	4,378	△2	3,127	3,127		
一般財源	49,520	50,172	652	50,423	50,423		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	53220	森林被害対策事業費	予 算	会計	1	一般会計	基本目標	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	市長公約	農林畜産業の振興 ・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤にかかわる活動を支援する施策を充実します。
	種別			款	5	農林水産業費		基本分野	1			
担当課	農政部 林務課		内線	項	3	林業費	分野	6	林業	H27実施計画額	千円	
	2236			目	2	林業振興費		施策概要	1			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民、森林所有者	どうしたいのか (意図)	・カシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害の予防・駆除を実施し、豊かな自然環境を守る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・予防事業・・・新たなナラ枯れの拡大を防ぐため、殺菌剤樹幹注入の予防措置を実施する。 ・駆除事業・・・カシノナガキクイムシの被害木を薬剤くん蒸処理する。
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	予防事業については荘川・国府地域で、125本殺菌剤樹幹注入を実施した。 駆除事業については荘川・国府・上宝地区で53本、伐倒くん蒸等処理をした。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	予防処理本数	本	目標値	100	160	130	70
				実績(見込)	48	75	73	
	算出根拠等 実績			達成率(%)	48	47	56	
	活動指標	駆除処理本数	本	目標値	200	150	80	50
				実績(見込)	87	53	45	
	算出根拠等 実績			達成率(%)	44	35	56	
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

平成25決算における 分析・評価で 明らかになった課題	国・県の補助対象項目に、調査費用がなく、森林の状況把握に苦慮している。
-----------------------------------	-------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H26対応状況	・国・県の補助対象項目に調査費用を含めるよう要望する。 ・国・県の補助制度、森林環境税を活用して予防・駆除を行う。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	・継続的に事業の実施を行うことは勿論のこと、先端地域の被害調査を徹底して行い、それに基づき予防・駆除事業を行っていく必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次 評価	○ 維持・改善	・市外からの被害拡大の防止を図るため、県や近隣市村と連携した対策についても検討する必要がある。 ・市の財政負担の軽減を図るため、県の森林環境税や国・県の他の補助制度などの予算措置及び制度拡充について、国・県に働きかけを行っていく必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	2,968	2,783	4,000	2,123
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	32	30	44	23
	受益者	市民、森林所有者	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	・予防事業・・・新たなナラ枯れの拡大を防ぐため、薬剤注入の予防措置を実施する。 ・駆除事業・・・カシノナガキクイムシの被害木を伐倒し、シートで被い薬剤くん蒸処理する。	要求の ポイント	カシノナガキクイムシを対象を絞った対策 荘川・国府・上宝を中心に予防、駆除を継続	事業 実施の 課題	近隣の市村において対応にばらつきがあり、広域的な取り組みが必要である。 被害地域の把握や被害場所の特定が困難
------	--	-------------	---	-----------------	---

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		4,000	2,123	△ 1,877	2,000	2,000	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	3,550	1,835	△ 1,715	1,750	1,750		
	その他			0				
	一般財源	450	288	△ 162	250	250		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	53230	林業担い手育成事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画	市長公約	農林畜産業の振興 ・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤にかかわる活動を支援する施策を充実します。
種別				款	5	農林水産業費		基本分野	1			
担当課	農政部 林務課	内線		項	3	林業費	分野	6	林業	H27実施計画額	千円	
		2236		目	2	林業振興費	施策概要	3	担い手の育成確保			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 林業グループ員、行事参加者	どうしたいのか(意図)	・林業グループの自主的な調査・研究活動等を促進し、新たな林業技術の習得や後継者の育成を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・林業グループの自主的な調査・研究活動等に要する経費に対して助成する。
	対象者数	150人				

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	各地域で活動する林業グループ7団体中4団体が、年間を通して7事業を行い、林業グループ員一般参加合わせて89名の参加となった。						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動実施回数	回	目標値	11	10	10	10
成果指標	算出根拠等	実績	実績(見込)	11	7	9	
			達成率(%)	100	70	90	
成果面	活動参加人数	人	目標値	150	150	150	150
	算出根拠等	実績	実績(見込)	119	89	100	
補足			達成率(%)	79	59	67	
			目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				
			目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				
			目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

平成25決算における分析・評価で明らかになった課題	現在、市内各所で7団体が活動しているが、全地域10団体での活動が望ましい。団体活動が出来ない地域の人は、隣接の団体に属して活動するなどして、技術の向上を図る取り組みも必要である。又、活動自体は地域色を出しながらも、どのように後継者育成につなげていくかが課題である。
---------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	毎年行われる各団体毎の技術講習やイベントなどに、地域外からの参加を呼びかけ、後継者の育成に繋げていく。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大	各団体の活動を通して一般市民が林業に興味を持たれるよう、常に新たな取り組みを念頭に活動するよう指導していく。又、数組の林業グループ合同のイベント・講習や、団体のない地域の人達を含めた情報交換の場を持つなど、後継者育成に繋げていくよう指導をしていく。
	○維持・改善 縮小	
二次評価	○維持・改善 拡大	・林業グループの統合などによる合理化や組織強化について検討する必要がある。
	○維持・改善 縮小	
	廃止検討	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	750	550	850	5,251
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	6,303	6,180	5,667	35,007
	受益者	林業グループ員、行事参加者	(B)	119	89	150

5 予算編成(Action2)

事業内容	・林業グループの自主的な調査・研究活動等を促進し、新たな林業技術の習得や後継者の育成を図る ・林業関連イベントの開催	要求のポイント	・森林、林業、環境機械展関連事業の開催 ・林業就労者の高齢化に伴う後継者不足及び林業技術の継承 ・新規就労希望者や一般市民に林業への林業振興	事業実施の課題	・各グループ間や地域間の情報交換が無いため、技術や伝統が伝わりにくい。 ・各グループの活動がPR不足であり、新規就労等の担い手育成につなげにくい。
------	---	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	850	5,251	4,401	4,750	4,750	・積算内容を精査 ・広葉樹施業者の育成に要する経費を計上 ・森林、林業、環境機械展関連事業の開催に要する経費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	350	3,535	3,185	3,250	3,250		
その他			0				
一般財源	850	1,716	866	1,500	1,500		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	53240	林道整備事業費	会計	1	一般会計	基本目標	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画		市長公約	農林畜産業の振興 ・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤にかかわる活動を支援する施策を充実します。
種別			款	5	農林水産業費		基本分野	1		産業・労働		
担当課	農政部 林務課		項	3	林業費	分野	6	林業	H27実施計画額		千円	
		内線	目	2	林業振興費	施策概要	2	森林資源の有効活用				
		2236										

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 市民	どうしたいのか(意図)	・旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金を支払う。 ・林道(宮・高山線)を早期に完成させる。 ・林道の改良を実施する。	概要	事業の実施手法(手段)	・高山市の受益者負担金、受益者組合への補助金の交付 ・県代行業である林道開業事業に対する負担金の支払い(高山市負担割合 事業費の5%) 総開設延長 11,150m ・林道公共事業(国・県補助)を活用し林道整備を実施する。
	対象者数	91,605 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> ・高山市受益者負担金 3,838千円 受益者組合への補助金 15,612千円 ・平成23年度より県代行業開始。山のみちづくり交付金林道事業負担金の支払いを行った。 ・市負担金 4,979千円 平成25年度実績 開設工事延長 L=289m ・舗装工事を実施 L=1,118m 							
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27	
成果面	活動指標	緑資源幹線林道賦課金元利補給金	千円	目標値	20,459	19,450	15,146	10,569
				実績(見込)	20,459	19,450	15,146	
	算出根拠等	年間支払額	達成率(%)	100	100	100		
	成果指標	緑資源幹線林道賦課金 償還額	千円	目標値	688,014	688,014	688,014	688,014
				実績(見込)	601,246	620,696	635,842	
	算出根拠等	支払累計	達成率(%)	87	90	92		
	活動指標	林道開設事業(H23年度より開設事業開始)	m	目標値	200	200	600	250
				実績(見込)	309	289	466	
	算出根拠等	施工延長	達成率(%)	155	145	78		
	成果指標	区間開設延長	m	目標値	1,990	1,990	1,990	1,990
				実績(見込)	288	446	492	
	算出根拠等	新設(未成)延長	達成率(%)	14	22	25		
活動指標	林道改良事業	m	目標値	650	1,050	580	167	
			実績(見込)	738	1,118	580		
算出根拠等	実施延長	達成率(%)	114	106	100			
補足			目標値					
	算出根拠等		実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

平成25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・林業者だけでなく広く一般の方々にも大規模林道を活用していただけるよう維持管理の向上に努める必要がある。 ・県の予算に左右される部分が多い。 ・地域の森林所有者だけでなく、広く市民が活用しやすいよう安全面等の利便性の向上を図る。 また一方でより一層のコストの削減が必要である。
---------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金の支払いを実施する。 ・舗装工事により利用者の利便性を向上するとともに低コストな事業実施に努め、長期的な視点に立ち維持管理費用の減少に努める。 	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金を支払う。 ・引き続き事業の進捗を図る。
	拡大	
	縮小	
	○ 維持・改善	
二次評価	拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな林道改良実施箇所については、必要性等を含めて検討する必要がある。
縮小		
	廃止検討	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	41,295	54,129	45,406	36,409
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	445	588	496	397
	受益者	市民	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金を支払う ・林道(宮・高山線)の負担金の支払い及び土地の取得及び支障木の伐採 ・林道改良事業の実施 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・林道宮・高山線の用地を取得及び支障木伐採等 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・賦課金の支払期限までに遅滞なく支払いを行うこと。 ・国・県の財政事情により事業量が変化すること。 ・工事箇所付近に希少な猛禽類が生息しており、施工時期・方法に配慮が必要である。 ・事業を円滑に進めるために必要な、測量・設計などの知識、技術を有する人材が不足している。
------	---	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	45,406	36,409	△ 8,997	46,353	46,353	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	11,000	9,448	△ 1,552	14,500	14,500		
その他			0				
一般財源	34,406	26,961	△ 7,445	31,853	31,853		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	53250	生活環境保全林管理事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画		市長公約	農林畜産業の振興 ・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤にかかわる活動を支援する施策を充実します。
種別				款	5	農林水産業費		基本分野	1		産業・労働		
担当課	農政部 林務課		内線	項	3	林業費	分野	6	林業	H27実施計画額		千円	
			2236	目	2	林業振興費	施策概要	3	担い手の育成確保				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民	どうしたいのか (意図)	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境保全林を適切に維持管理する。 利用者数を増加させるとともに、市民による多様な活用を促進する。 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の適正な維持管理を図る。 広報等により利用促進に向けた普及啓発を実施する。
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	生活環境保全林管理事業 8,413千円						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	広報等による普及啓発	回	目標値	1	1	1	1
成果指標	算出根拠等	実績	実績(見込)	1	1	1	
	達成率(%)		100	100	100		
利用者数	目標値	人	目標値	160,000	160,000	160,000	160,000
	実績(見込)		160,395	151,538	160,000		
算出根拠等	実績	達成率(%)	100	95	100		
成果面	目標値		実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足	目標値		実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

平成25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、適正な維持管理を実施する。 利用者増に向けた普及啓発を強化する。
---------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	H26は広報及びインターネットによるPRのほか、地域団体等と協働し、入り込み増を図る。県補助等を積極的に活用し、施設整備をすすめる。 <ul style="list-style-type: none"> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
次年度の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	15,197	19,091	20,320	11,787
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	164	207	222	129
受益者	市民	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	生活環境保全林施設の適正な維持管理の実施、利用促進	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 適正な林業施設の維持管理 広報等による生活環境保全林利用促進に向けた普及啓発 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化する施設の修繕。 市民への効率的な広報の実施。
------	---------------------------	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	20,320	11,787	△ 8,533	9,874	9,874	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	5,000	4,752	△ 248	5,000	5,000		
一般財源	15,320	7,035	△ 8,285	4,874	4,874		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	53260	森林整備地域活動支援事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画		市長公約	農林畜産業の振興 ・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤にかかわる活動を支援する施策を充実します。
	種別			5	農林水産業費	基本分野		1	産業・労働		実施計画事業		
担当課	農政部 林務課		内線	項	3	林業費	分野	6	林業	H27実施計画額		千円	
				2236	目	2		林業振興費	施策概要		2		森林資源の有効活用

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市と協定を締結している森林所有者、全市民	どうしたいのか(意図)	森林整備の推進のため、森林所有者等による森林施業の実施に不可欠な森林の現況調査、境界の明確化、作業路等の整備を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	市長との協定に基づく森林整備のための地域活動(森林経営計画を作成することを前提に森林の現況調査、境界の明確化作業、林内作業路網の改良等)を実施したものに、その実行経費が基準上限額のどちらか低い方の額を交付する。 (森林整備地域活動支援交付事業 国・県・市の予算で費用負担)
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	交付金総額 51,560千円(国費 29,847千円、県費 13,087千円、市費 8,626千円)							
	締結者数 2団体 積算基礎森林面積 1,193.92ha 路線延長 10.550m							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	締結者数	ha	目標値	6	2	5	5
				実績(見込)	6	2	1	
	成果指標	算出根拠等	市と協定を締結した個人または団体の数	達成率(%)	100	100	20	
				目標値	2,000	2,000	2,000	2,000
	成果指標	算出根拠等	森林整備計画 年間間伐実施面積指標	実績(見込)	1,748	1,109	2,000	
				達成率(%)	87	55	100	
	成果指標	算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
	成果指標	算出根拠等		実績(見込)				
達成率(%)								
補足	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
補足	算出根拠等		達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

平成25決算における分析・評価で明らかになった課題	新制度の基準に従い、適切に事業を運営し、当事業の成果を森林経営計画の作成及び森林整備に結びつける。
---------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	新制度の基準に従い、適切に事業を運営し、当事業の成果を森林経営計画の作成及び森林整備に結びつける。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	新制度の基準に従い、適切に事業を運営し、当事業の成果を森林経営計画の作成及び森林整備に結び付けていく。
	拡大	
	縮小	
	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	71,984	51,665	60,120	60,120
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	775	561	656	656
	受益者	市と協定を締結している森林所有者、全市民	(B)	92,861	92,097	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	森林整備を計画的かつ適切に実行するための、森林の調査や境界の明確化、作業路網の改良活動などの地域活動に対して、森林所有者等に支援を実施する	要求のポイント	事業実施の課題	事業の積極的な実施により、森林経営計画の作成を促進し、森林整備に結び付けていくことが必要。
------	---	---------	---------	---

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	60,120	60,120	0	60,080	60,080	積算内容を精査	・財務部査定のとおりに
	国庫支出金			0				
	県支出金	45,060	45,060	0	45,040	45,040		
	その他			0				
	一般財源	15,060	15,060	0	15,040	15,040		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	53300	分収造林整備事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	1	魅力と活力にあふれるまち	根拠計画		市長公約	農林畜産業の振興 ・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤にかかわる活動を支援する施策を充実します。
種別				款	5	農林水産業費		基本分野	1		産業・労働		
担当課	農政部 林務課	内線		項	3	林業費	分野	6	林業	H27実施計画額		千円	
		2236		目	3	分収造林費	施策概要	1	森林の適切な管理				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 市、土地所有者、市民	どうしたいのか(意図)	公的造林資本の導入により、森林資源を計画的に造成し、地域林業の振興、国土の保全等を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	公的造林資本による分収造林契約森林において、森林の現況調査により、間伐や枝打ち等の施策を実施する。
	対象者数	91,605 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	間伐面積 24ha							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	分収林間伐等施策実施面積	ha	目標値	65	21	116	30
				実績(見込)	28	24	116	
				達成率(%)	43	114	100	
	算出根拠等	実施面積		目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等	実施面積		目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等	実施面積		目標値				
				実績(見込)				
達成率(%)								
算出根拠等	実施面積		目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等	実施面積		目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等	実施面積		目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

平成25決算における分析・評価で明らかになった課題	旧森林開発公団以外の分収造林地については、新たな国の制度に対応し、森林の持つ公益的機能の維持・発揮を図るため、分収林及び周辺森林を一体とした管理手法を検討・実施する必要がある。 旧森林開発公団分収造林地については、市管理業務の軽減を図るため、管理手法について検討する必要がある。
---------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	旧森林開発公団以外の分収造林について、新たな制度に対応するための管理手法を検討する。また、そのための調査を実施する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
	○ 維持・改善	
	拡大	
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	8,463	8,967	26,076	11,365
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	91	97	285	124
	受益者	市と協定を締結している森林所有者、全市民	(B)	92,861	92,097	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	公的造林資本の導入により、森林資源を計画的に造成し、地域林業の振興、国土の保全等を図る。	要求のポイント		事業実施の課題	計画的な施策の実施及び周辺森林と一体となった管理
------	--	---------	--	---------	--------------------------

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	26,076	11,365	△ 14,711	9,166	9,166	積算内容を精査 ・財務部査定のとおり	
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	26,000	9,219	△ 16,781	9,000	9,000		
一般財源	76	2,146	2,070	166	166		